

## スポーツパック

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

#### ⚠️注意

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 必ずお読みください。

- 必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。
- 万一、スポーツパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（ビデオカメラレコーダー、バッテリーなど）の損傷、および記録内容や撮影に要した諸費用などの補償は、ご容赦ください。
- スポーツパックおよび内部機材に対するソニー水中機材損害保険を用意しております。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。

### 安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにつぎのことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する
- 万一異常が起きたら

<div><span></span></div> <div>変な音やにおいがしたら、煙が出たら</div>	➡	<div><span></span></div> <div>① 電源を切る</div> <div><span></span></div> <div>② テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する</div>
---	---	--

#### 警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

<span>⚠️</span> <b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
---------------------------	---

<span>🚫</span> <b>禁止</b>	行為を禁止する記号
--------------------------	-----------

<span>🚫</span> <b>禁止</b>	行為を禁止する記号
--------------------------	-----------

<span>⚠️</span> <b>注意</b>	下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。
---------------------------	-----------------------------

<span>🚫</span> <b>禁止</b>	衝撃を与えないガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。
--------------------------	-----------------------------------

### 各部のなまえ

バックルリア部	POWERスイッチ、START/STOPボタン	PHOTOボタン
		フロント部
ショルダーベルト取付部		ズームボタン
		フロントガラス
グリップベルト		ステレオマイク
	三脚用ネジ穴	

防水バックキン		マイクプラグ
スベーカーご使用になるときは取りはずしてください		リモートプラグ
		プラグホルダー <p>本機をお使いにならないときに、プラグを差し込んで保管してください。 <p>台座を取り出すときは、リモート・マイクプラグははずしてから取り出してください。</p></p>
開閉式ミラー		
ショルダーベルト取り付け部		
台座		

ご相談になるときは次のことをお知らせください。 <p>型名：SPK-TRV33</p> <p>故障の状態：できるだけ詳しくお買い上げ日</p>
---

## 主な仕様

材質	プラスチック（PC、ABS）、ガラス	質量	約650 g（本体のみ）
防水構造	防水バックキン、バックル	付属品	ショルダーベルト（1） <p>台座（1）</p> <p>反射防止リング（1）</p> <p>グリス（1）</p> <p>スベーカー（1）</p> <p>くもり止めリキッド（1）</p> <p>取扱説明書（1）</p> <p>保証書（1）</p> <p>水中機材用損害保険のご案内（1）</p>
耐圧	水深2mまで		
外部より操作可能な動作	撮影・再生時の電源入 / 切、録画開始 / 停止、フォト操作、ズーム操作		

最大外形寸法	136×157×202 mm（幅 / 高さ / 奥行き）
--------	------------------------------

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります

がご了承ください。

## 保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを“故障かな?と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社ではスポーツパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後3年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。 <p>型名：SPK-TRV33</p> <p>故障の状態：できるだけ詳しくお買い上げ日</p>
---

お問い合わせ窓口のご案内	テクニカルインフォメーションセンター <p>ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。</p>
--------------	--

電話のおかけ間違いにご注意ください。	製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。
--------------------	---

電話：0564-62-4979	受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される際に、本機の型名（SPK-TRV33）をお知らせください。	
より迅速な対応が可能になります。	

ソニー株式会社	〒141-0001	東京都品川区北品川6-7-35
---------	-----------	-----------------

### 取り扱い上の注意

本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。

- 海辺や海上でのスポーツパックの開閉はできるだけ避けてください。ビデオカメラレコーダーの取り付けやテープ・“メモリースティック”の交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- スポーツパックを水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次の場所でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40℃を越える温水中
  - 0℃以下の場所
- 結露、水漏れ、ビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を越えるときのご使用は、連続1時間以内に行ってください。
- 炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけておいてください。

スポーツパックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、スポーツパック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

##### 水漏れについて

万一内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。

ビデオカメラレコーダーが濡れた場合は、至急テクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

### 防水バックキンについて

- 防水バックキンのキズやヒビ割れは浸水の原因になります。直ちに新しいものと交換してください。防水バック金を溝からはずすときに、とがったものや金属を使うと溝にキズをつける恐れがありますので使用しないでください。
- 防水バック金全面に付属のグリスを指先で薄く塗ってください。防水バック金の磨耗を防ぎます。布や紙にグリスをつけて塗ると、繊維が防水バックキンに付着することがありますのでおわないでください。
- 防水バック金を装着するときは、防水バック金全面に付属のグリスを薄く塗り、とがった方の上にしてねじれないように注意しながら入れてください。

防水バックキン	
<span></span>	<span></span>
とがった方の上になります。	溝

- 防水バックキンの寿命は使いかたによって異なりますが、防水性能を維持するため1年に1度は交換することをおすすめします。交換するときは、テクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。交換後は、必ず水漏れの確認をしてください。

#### 水漏れの確認方法

防水バック金交換後は、ビデオカメラレコーダーを収納する前にスポーツパックを閉じて、水中（15cm位）に約3分間沈めて水漏れがないことを確認してください。

お手入れのしかた
海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分が残ったままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
• サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
• スポーツパック内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。
• シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

くもり止めリキッドについて
スポーツパック前部のガラス面に付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり防止に効果があります。
• くもり止めリキッドの使用方法
フロントガラス、アイカップのガラス面の内側に1～2滴たらし、コットン、柔らかい布、ティッシュペーパー等でクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

保管するときは
• 防水バック金の劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスベーカーを取り付けてください。



- 防水バック金の劣化を防ぐため、ポディーを閉じたあとバックルは締めないでください。
- 防水バックキンにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟腦などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

## 故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に作動しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

音声	音が記録されていない
→ビデオカメラレコーダーのMIC（PLUG IN POWER）端子にマイクプラグをしっかりと差し込む。	
→スポーツパック内部に水滴がつく	
→バックルをカチッとロックされるまで締める。	
→防水バック金を正しく装着する。	
→防水バックキンにキズ、ヒビ割れが入っている場合、新しいものと交換する。	
撮影ができない	
→バッテリーパックを充分に充電する。	
→ビデオカメラレコーダーのLANC端子にリモートプラグをしっかりと差し込む。	
→テープが終わりになっている場合、別のカセットを入れる。またはテープを巻き戻す。	

→“メモリースティック”の残量がない場合、別の“メモリースティック”を入れる。または不要なデータを消す。	
→カセット・“メモリースティック”の誤消去防止つまみ・スイッチを戻す。または別のカセット・“メモリースティック”を入れる。	

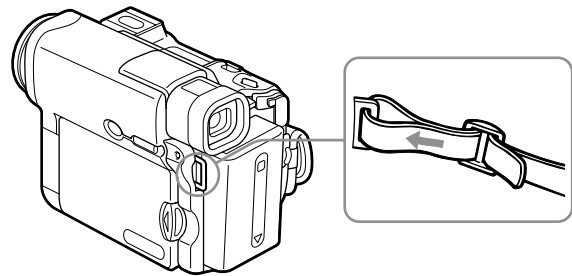
## 準備

### ビデオカメラレコーダーの準備

ビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

#### 1 ショルダーストラップをはずす。

MCプロテクター、NDフィルター、コンバージョンレンズ、特殊フィルター、レンズキャップなども取りはずしてください。



#### 2 バッテリーを取り付ける。

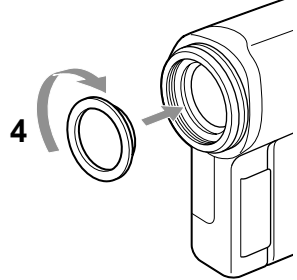
#### 3 カセット・“メモリースティック”を入れる。

誤消去防止つまみ・スイッチを解除し、記録できるようにしてください。

テープ・“メモリースティック”の残量を確認しておいてください。

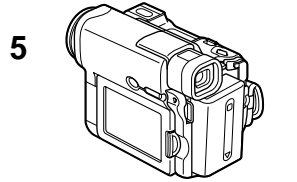
#### 4 反射防止リングを取り付ける。

反射防止リングを取り付けることにより、ビデオカメラレコーダーのレンズリング部がフロントガラスへ写り込むのをある程度防ぎます。ビューファインダーは最大まで伸ばして使用してください。



#### 5 液晶画面を見ながら撮影

するときには、液晶画面を外側に向けて本体に閉じる。



#### 6 ビデオカメラレコーダーのフォーカス・明るさなどの調節が手動になっているときは、自動に戻す。

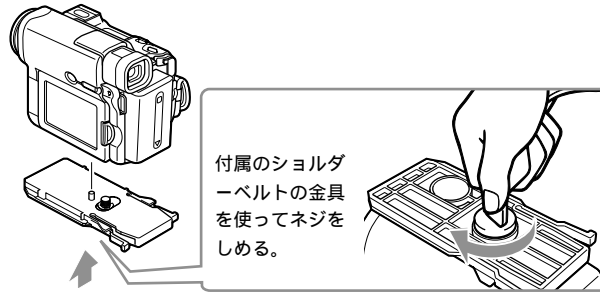
ビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

## ビデオカメラレコーダーを取り付ける

ビデオカメラレコーダーの電源スイッチは切(充電)に、スポーツパックのPOWERスイッチは「OFF」しておいてください。

#### 1 台座に取り付ける。

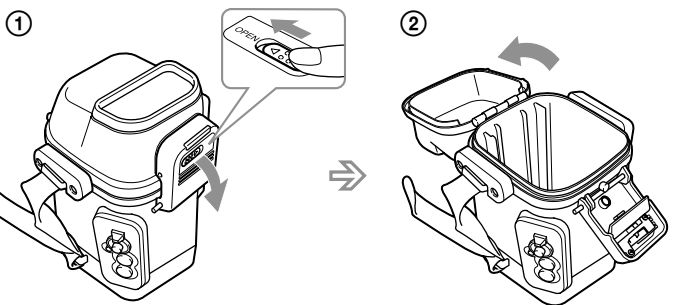
ビデオカメラレコーダー底面の三脚用ネジ穴に台座のネジをあわせませす。



付属のショルダールベルトの金具を使ってネジをしめる。

#### 2 スポーツパックを開ける。

- ロック解除ボタンを矢印の方向へずらし、バックルをはずす。
- 後部ボディーを開く。



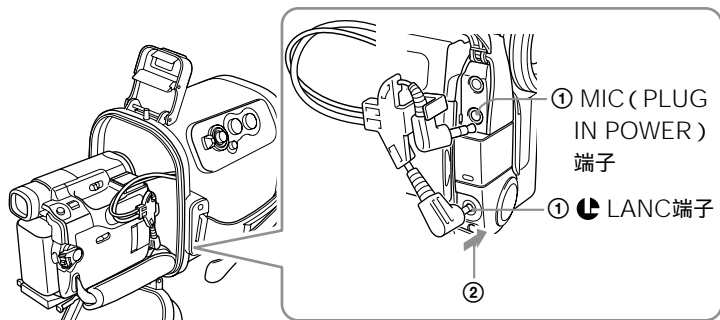
フロントガラスにくもり止めりキッドを塗る。スポーツパック前部のガラス面の内側に付属のくもり止めりキッドを塗布します。

#### 3 砂やゴミを取り除く。

防水パッキン、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、防水パッキンに薄く均一にグリスを塗ります。砂やゴミが付着したままふたを閉めると、傷が付いて浸水の原因になります。

#### 4 プラグを接続する。

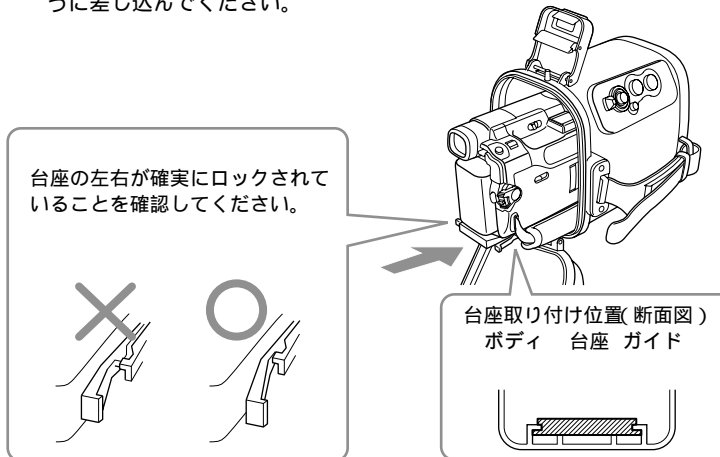
- リモートプラグをMIC(LANC)端子へ、軽く差し込む。その後、マイクプラグをMIC(PLUG IN POWER)端子へ奥までしっかりと差し込む。
- リモートプラグを奥までしっかりと差し込む。



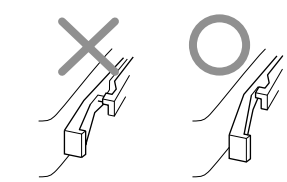
ご注意  
両プラグが確実に接続されているか確認してください。

#### 5 スポーツパックに取り付ける。

ビデオカメラレコーダーとスポーツパックを下図の向きにし、台座を前部ボディー内のガイドに合わせ、台座の後部を押して、カチッとロックされるまで差し込みます。このとき、コードをはさまないようにご注意ください。接続したリモートプラグやマイクプラグが、スポーツパックの内部部品に当たらないように差し込んでください。また、コードがビデオカメラレコーダーのグリップベルトにはさまらないように差し込んでください。



台座の左右が確実にロックされていることを確認してください。



台座取り付け位置(断面図)  
ボディ 台座 ガイド

ご注意  
スポーツパックを立てた状態で台座を差し込まないでください。台座やフロント部を傷める原因になります。

#### 6 後部ボディーを閉じる。

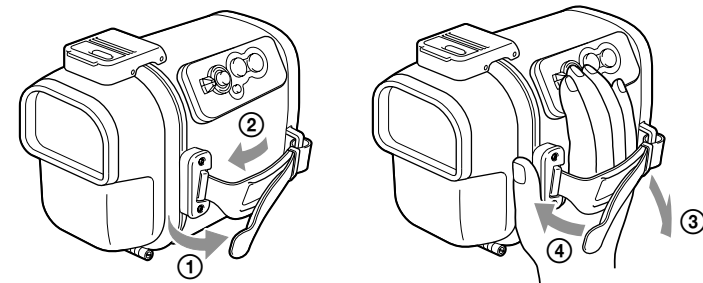
後部ボディーをしっかり押さえ、バックルがカチッとロックされるまで締めます。

ご注意  
・コードをはさまないようにご注意ください。  
・ビデオカメラレコーダーをスポーツパックに収納したときに、レンズの中心がスポーツパックのフロントガラス部中心に対してずれていますが、撮影などには問題ありません。

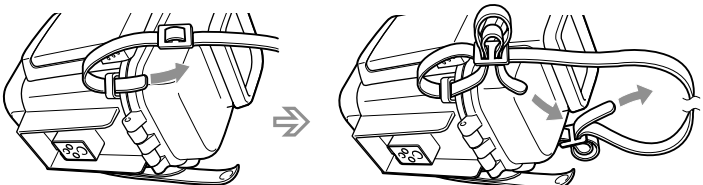
## スポーツパックの準備

#### 1 グリップベルトを調節する。

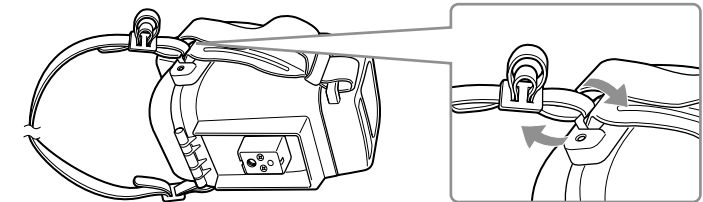
- グリップベルトを起こし、
- グリップベルトをゆるめる。
- POWERスイッチやSTART/STOPボタン、ズームボタンを操作できるように手の位置を決め、グリップベルトを引っ張って調節する。
- マジックテープで固定する。



#### 2 ショルダールベルトを取り付ける。



ベルトのSONYマークを外側にする。

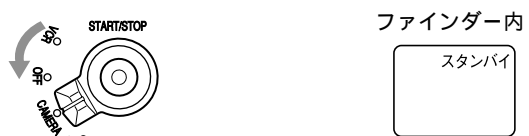


## スポーツパックを使う

### 撮影する

テープに記録されます。

#### 1 POWERスイッチを「CAMERA」にする。



#### 2 START/STOPボタンを押す。

撮影が始まります。



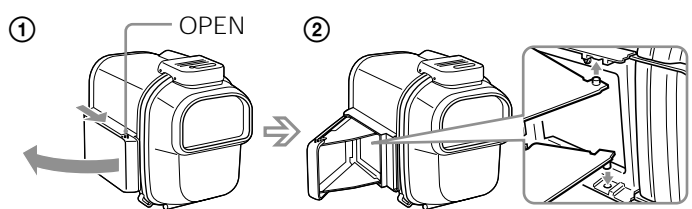
撮影を止めるには  
START/STOPボタンを押してから、POWERスイッチを「OFF」にします。

撮影を一時的に止めるには  
START/STOPボタンを押します。もう1度押すと撮影が再開します。

### 液晶画面を見ながら撮影する

ミラーに映る映像を見ながら撮影することができます。

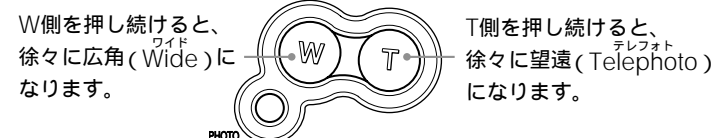
- 開閉式ミラーをずらして開く。
- 上下の羽を広げ、突起を穴にはめ込む。



OPEN表示部を持って引く。  
ミラーを閉じるときは  
上下の羽の突起をはずし、下の羽から閉じます。

### ズーミングのしかた

速度が2段階に変化します。  
軽く押すとゆっくりズームインし、さらに押すと早くズームインします。



ご注意  
・撮影スタンバイが5分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。撮影スタンバイに戻すにはPOWERスイッチを「OFF」に戻してから、再び「CAMERA」にします。  
・カメラ側の電源スイッチに関係なく、スポーツパック側の電源スイッチが優先されます。

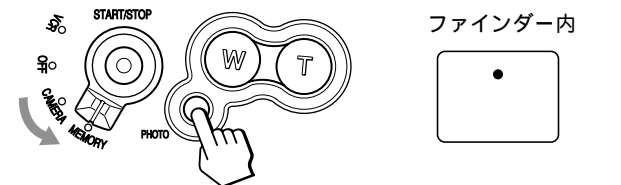
### 静止画を撮る

“メモリースティック”に記録されます。

#### 1 POWERスイッチを「MEMORY」にする。

#### 2 PHOTOボタンを軽く押す。

緑の・が点滅から点灯に変わり撮影可能となります。



#### 3 PHOTOボタンを深く押す。

ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録されます。

上記の操作は  
POWERスイッチを「CAMERA」に設定してもできます。

ご注意  
スポーツパックを使ってナイトショット撮影をすることはできません。“メモリースティック”に対応していない機種の場合は、カメラモードになります。

### 動画を“メモリースティック”に撮る

#### 1 POWERスイッチを「MEMORY」にする。

#### 2 START/STOPボタンを押す。

撮影が始まります。



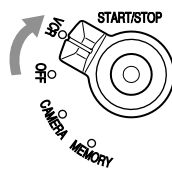
ご注意  
“メモリースティック”に対応していない機種の場合は、カメラモードになります。

### リモコンを使って画像を見る

ビデオカメラレコーダーのリモコンを使って、液晶画面で画像を見ることができます。音声は聞こえません。

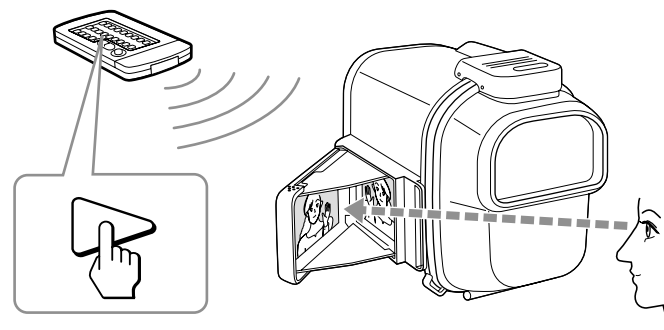
ご注意  
ビデオカメラレコーダーのメニュー「リモコン」を「切」にしている場合は、「入」にしてください。

#### 1 POWERスイッチを「VCR」にする。



#### 2 リモコンの▶を押す。

リモコンは受光部に向けて操作してください。  
ビデオカメラレコーダーのリモコン受光部はフロント中央にあります。

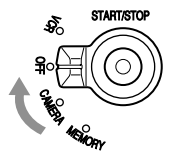


その他の操作(停止、巻き戻し、早送り)もすべてリモコンで行ってください。

ご注意  
画面は左右が反転して見えます。

## ビデオカメラレコーダーを取りはずす

#### 1 POWERスイッチを「OFF」にする。

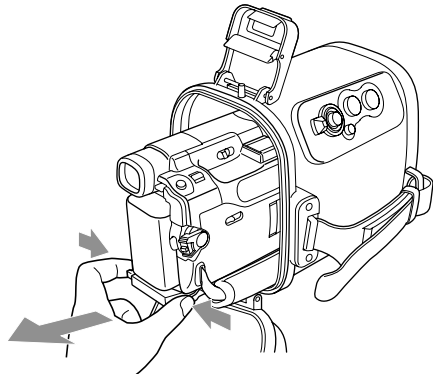


#### 2 バックルをはずして、後部ボディーを開ける。

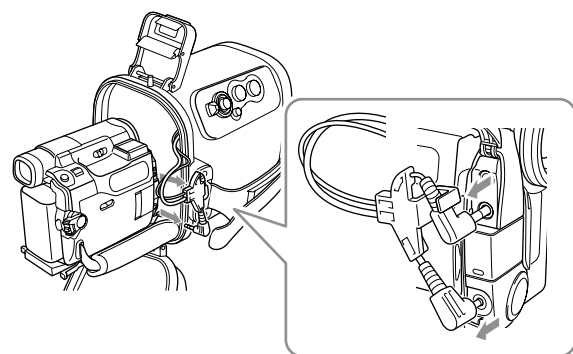
「ビデオカメラレコーダーを取り付ける」の手順2を参照してください。

#### 3 台座を引き出す。

台座の両側のノブを押さえるようにしてつかみ、ロックをはずしビデオカメラレコーダーをゆっくりと引き出します。

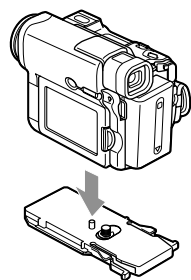


#### 4 リモートプラグとマイクプラグが前部ボディーの外に出てきたところまでいったん止め、それぞれのプラグを確実にはずす。



ご注意  
リモートプラグ、マイクプラグはプラグ部を持って確実にはずしてください。コード部を持って抜いたり、プラグがはずれていない状態で台座を引き出すとプラグやビデオカメラレコーダーの端子の破損の原因となります。

#### 5 台座を取りはずす。



ご注意  
スポーツパックを開けるときは、スポーツパックと体についた水分を充分に拭き取ってから開け、水滴が内部のビデオカメラレコーダーにかからないようにしてください。